

第4号正誤表

頁	行・箇所	誤	正	備考
1頁	11行目	斎藤良治	斎藤良治	正式には齋藤。以下、同じ。
1頁	20行目	田柄貝塚（藤沼ほか1984）	田柄貝塚（藤沼ほか1986）	引用文献欄も刊行年訂正
1頁	21行目	摺杖遺跡（柳沢ほか1994）	摺杖遺跡（柳沢ほか1990）	引用文献欄も刊行年訂正
26頁	引用文献9行目	『宮城県の地理と歴史』1 pp.191～201	『宮城県の地理と歴史』田邊一郎先生還暦記念論文集 pp.191～202	
26頁	引用文献12行目	後藤勝彦1960「宮城県名取市金剛寺貝塚出土の土器編年について」	後藤勝彦1960「宮城県名取市高館金剛寺貝塚出土土器式土器の研究」	
26頁	引用文献19行目	斎藤良治1968「陸前地方縄文文化後期後半の土器型式について」	斎藤良治1968「陸前地方縄文文化後期後半の土器編年について」	
32頁	19行目	一迫町上ノ山A遺跡	一迫町上ノ原A遺跡	
39頁	第15図キャプション	川北柳口遺跡	川北柳口遺跡	
41頁	9行目	上ノ山A遺跡	上ノ原A遺跡	
60頁	23行目	海面骨針	海綿骨針	以下、同じ。
61頁	2行目	（庄子・坂本;1985）	（庄子敦ほか：1988）	
69頁	〈引用・参考文献〉五十音順に補充	宇部則保ほか 1988『八戸新都市区域内埋蔵文化財調査報告書 V 田面木平遺跡(1)』八戸市文化財調査報告書第20集 木村浩二ほか 1983『第24次発掘調査』『宮城県仙台市郡山遺跡 III』仙台市文化財調査報告書第46集 窪田 忍 1995『孤塚遺跡』山元町文化財調査報告書 後藤秀一・村田晃一・岩見和泰ほか 1994『藤田新田遺跡』宮城県文化財調査報告書第163集 斎野裕彦 1991『第87次発掘調査』『宮城県仙台市郡山遺跡 X 1』仙台市文化財調査報告書第146集pp.27～36 菅原弘樹・吾妻俊典 1994『山王 1—古墳時代中期遺物包含層編—』宮城県文化財調査報告書第161集 田辺昭三 1981『須恵器大成』角川書店 中富 洋ほか 1995『下飯田遺跡発掘調査報告書』仙台市文化財調査報告書第191集 根本光一 1998『第31次調査』『南小泉遺跡』仙台市文化財調査報告書第226集pp.109～149 結城慎一・佐藤 洋 1984『南小泉遺跡』仙台市文化財調査報告書第68集 結城慎一 1989『第79次発掘調査』『宮城県仙台市郡山遺跡 IX』仙台市文化財調査報告書第124集pp.42～46		
80頁	図2キャプション	（古川;1994）	（古川;1993）	以下、同じ。
96頁	引用・参考文献1行目	『天平産金遺跡』涌谷町教育委員会	『天平産金遺跡』涌谷町・黄金山神社	
117頁	22行目	クリーバー	クリーパー	
121頁	10行目	渡辺直経（1966）	渡辺直経（1966）	正式には渡邊直經。以下、同じ。
122頁	表中	yrB.P.	yr.B.P.	以下、同じ。
126頁	22行目	渡辺直経1966『縄文および弥生時代の <sup>14</sup> C年代』『第四紀研究』第5巻第4～5号	渡辺直経1966『縄文および弥生時代の <sup>14</sup> C年代』『第四紀研究』第5巻第3～4号	
129頁	30行目	同一個体	同一個体	
129頁	32行目	緑錆	緑青	
141頁	8行目	捏造	ねつ造	以下、同じ。
144頁	19行目	傾向が伺える	傾向が窺える	
156頁	32行目	玉造郡岩出山町	玉造郡岩出山町	
165頁	22行目	石器検討班、情報班	石器検討チーム、情報資料調査チーム	以下、同じ。
166頁	7行目	次ぎの7点	次の7点	
168頁	25行目	同道めぐり	堂々めぐり	
169頁	13行目	タチカルシナイ	タチカルシュナイ	
172頁	19行目	上高森遺跡を初め	上高森遺跡を始め	
173頁	8行目	出土状況の異状	出土状況の異常	
185頁	31行目	考古学の後身	考古学の後進	
218頁	組織図	総務幹事会（6名）	総務幹事会（4名）	2000年度から。以下、同じ。
218頁	組織図	企画幹事会（6名）	企画幹事会（8名）	
218頁	組織図	会誌幹事会（6名）	会誌幹事会（5名）	
218頁	組織図	連絡紙幹事会（6名）	連絡紙幹事会（7名）	
裏表紙	CONTENTS13行目	C-14 Dates	<sup>14</sup> C Dates	